

<b>創意開発技術賞</b>	角形鋼管切梁
<b>技術開発者</b>	ジェコス(株) 氏名：岩崎 伸一
	
<p style="text-align: center;"><b>受賞にあたって</b></p>	
<p>このたびは、国土技術開発賞創意開発技術賞という荣誉ある賞をいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>現場工事における施工能率の向上（省力化）および構造物の品質向上は、労働人口の減少や社会インフラの長寿命化に対応するための課題であり、土留め工においてのこれら課題の解決に取り組んだ結果、角形鋼管切梁の開発に至りました。</p> <p>土留め支保工の切梁は、従来よりH形鋼を利用していますが、開断面であることから座屈性を確保するために中間杭による部材中間の支点を必要とします。そこで、閉鎖断面である角形鋼管を利用することにより、同じ作用軸力下では座屈長を長くでき、結果として中間杭の省略、切梁間隔の拡大が可能となりました。その結果として、躯体品質の向上、工費削減、工期短縮、安全性の向上など、あらゆる面で大きな効果が得られました。</p> <p>角形鋼管切梁を架設する際は、従来材に比べ長尺材料となることから、吊り込み時の安定性を確保するための吊ピースの配置や吊り込み治具の改良など施工方法の確立が実用化の鍵となり、数度の改良を重ね実用化できました。現在、本技術を採用していただいている現場が増えており、大変嬉しく思います。</p> <p>最後に、開発にあたりご支援、ご指導いただいた関係各位の皆様には心からお礼申し上げます。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>受賞後の動き</b></p>	
<p>今後は、本工法の普及に努め、実績を積み重ねるとともに、設計・施工技術を向上させて適用範囲を拡大していきたいと考えております。</p>	